

第四次川越市総合計画市民参加報告書（概要版）

〈平成26年度の取組〉

1 川越みらい会議

名 称	川越みらい会議
対 象	18歳以上の市民（川越市市民満足度調査の対象として無作為抽出した3,000人を対象に参加者を募集）
参加人数	173人（各回27～31人）
日程・テーマ	9月 6日（土）保健・医療・福祉 9月 7日（日）教育・文化・スポーツ 9月13日（土）都市基盤・生活基盤及び環境 9月14日（日）産業・観光 9月20日（土）地域社会と市民生活 9月21日（日）エンディング （どんな川越であれば住みたいか）

2 カテゴリー別意見聴取

名 称	(1) まちかどインタビュー
対 象	高校生などの若い世代、市内在勤・在学
参加人数	908人
日 程	平成26年6月23日（月）～27日（金）
テ ー マ	ずっと住みたいまちになるために
名 称	(2) 女性限定！ おしゃべりカフェ
対 象	市内在住の20代～40代の女性
参加人数	11人
日 程	平成26年9月28日（日）
テ ー マ	ずっと住みたいまちになるために
名 称	(3) 大学生インタビュー
対 象	市内の大学に在学する学生
参加人数	各大学15人～23人 合計77人
日 程	東京国際大学 平成26年 9月19日（金） 東邦音楽大学 平成26年 9月26日（金） 東洋大学 平成26年10月 7日（火） 尚美学園大学 平成26年12月16日（火）
テ ー マ	ずっと住みたいまちになるために

名 称	(4) 若者ワークショップ
対 象	川越少年の船・翼修了者の会（ミストラル）会員
参 加 人 数	23人
日 程	平成26年8月10日（日）
テ ー マ	ずっと住み続けたいまちを目指して
名 称	(5) 外国籍市民インタビュー
対 象	タウンミーティング参加者、国際交流センターの日本語教室の学習者、市内在学の留学生
参 加 人 数	131人（16箇国）
日 程	平成26年8月～9月（アンケート又は対面調査）
テ ー マ	外国籍市民から見た住みやすいまちづくり

〈平成25年度の取組〉

3 エリアインタビュー

名 称	エリアインタビュー
対 象	市民
参 加 人 数	591人
日 程	平成25年10月～12月
テ ー マ	各地域の魅力と課題について（1回目） ずっと住み続けていくために力を入れるべきことは （2回目及びポスターセッション） ※市内17公民館×2回実施

※延べ参加人数（アンケート回答者も含む） 1,914人

1 川越みらい会議

目的：無作為抽出により参加を呼びかけた市民により、本市の今後のあるべき姿等について話し合いを行う。

(1) 川越みらい会議の結果

ア 魅力、課題、力を入れるべき取組について、観光と地域コミュニティについての意見が多い。

イ 情報の必要性や交通についての意見が多い。

ウ 個別施策の参考意見

- ・年齢層に合うPR媒体の多様化、情報発信の活性化
→市政情報の発信
- ・市民の声を得る機会の拡大、PDCAサイクル（市民と行政で行う）
→成果を重視したマネジメントサイクルの確立
- ・健康づくりのためのお散歩マップをつくる
→健康づくりの推進
- ・川越いも以外にもっと有名な川越ブランドをつくる
→農業の振興、新しい産業の育成
- ・来訪者参加型の祭りや地元以外の者も参加できる川越まつりを行う
- ・カード利用ができるお店を増やす
- ・まつりを通して交流や他地区とのつながりを深める
- ・観光による経済効果が得られるようにする
→新たな観光事業の推進
- ・本の返却ポストを駅につくるなど、図書館の充実
→図書館サービス網の整備・充実
- ・川越在住、在勤ができるまちに
→雇用の促進と労働環境の改善

(2) 将来都市像（出された将来都市像の全て）

- ・観光資源を発掘し、中心と周辺が放射状につながるまち
- ・歴史、文化、自然が調和し、恒久的に発展し続けるまち
- ・一人一人が川越のまちを自慢できる（他県・他市）、最後の一人まで目が届く（高齢者、障害者、子育て世代）、住み続けられる（故郷を大切にできる）まち
- ・観光に来た人、住んでいる人、老若男女問わず、誰でも安心・安全にすごせるまち
- ・歴史と伝統、文化を守りながら、人と地域をつなげていくまち
- ・活気ある観光に力を入れる子育てのしやすいまち

(3) 川越の魅力（多く意見が出された施策）

- ・新たな観光事業の推進（4-2-1）

(4) 川越の課題（多く意見が出された施策）

- ・新たな観光事業の推進（4-2-1）

<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ活動の推進 (6-1-1) ・公共交通機関の充実 (3-2-3) ・保健衛生・医療体制の充実 (1-2-2) ・農業の振興 (4-1-3) ・文化財の保存・活用 (2-3-2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の充実 (3-2-3) ・地域コミュニティ活動の推進 (6-1-1) ・道路交通体系の整備 (3-2-1) ・交通円滑化方策の推進 (3-2-2)
<p>(5) 力を入れるべき取組 (多く意見が出された施策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光事業の推進 (4-2-1) ・観光環境の整備 (4-2-2) ・地域コミュニティ活動の推進 (6-1-1) ・市民参加と協働の推進 (0-1-1) ・商業の振興 (4-1-4) 	
<p>(6) 実施手法</p> <p>ア プラヌクスツェレの準用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無作為にて抽出された市民が小グループに分かれて話し合う。 ・参加者には報償を支払う。 ・毎回小グループのメンバーを入れ替える。 <p>イ 最終日はワールドカフェ方式にて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドごとにテーブルを移動する。 ・カフェのようなリラックスした雰囲気をつくる。 	
<p>(7) 実施日、テーマ、参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日及びテーマ <ul style="list-style-type: none"> 9月 6日 (土) 保健・医療・福祉 9月 7日 (日) 教育・文化・スポーツ 9月13日 (土) 都市基盤・生活基盤及び環境 9月14日 (日) 産業・観光 9月20日 (土) 地域社会と市民生活 9月21日 (日) エンディング (どんな川越であれば住みたいか) ・参加人数：各回27～31人 合計173人 	



グループでの話し合いの様子



全体での振り返り
全参加者が意見・感想等を述べている。

2 カテゴリー別意見聴取

目的：市民の意見を計画に反映するため、無作為抽出により実施した市民満足度調査、川越みらい会議等を補完するカテゴリー別の意見聴取を行い、多様な意見及びニーズを的確に把握する。

(1) まちかどインタビュー

目的：高校生などの若い世代や在勤・在学者の意見を幅広く聞き出すことにより、多様な意見及びニーズを把握する。

ア まちかどインタビューの結果

- (7) 力を入れるべき取組について、「子育て」、「高齢者福祉」、「スポーツ」、「道路」、「交通」、「商業」、「観光」などについての意見が多い。
- (4) 安心して子育てができること、高齢者にやさしいまちであること、道路や交通、商店街など都市としての機能が整備されていること、スポーツができること、観光環境を整備することについての意見が多い。
- (9) 個別施策の参考意見
- ・ 駅など使いやすいところに保育施設があるとよい
→ 児童福祉の推進
 - ・ 仕事が見つかって、地元で働いて女性も働きやすい
 - ・ 働く場所があれば住む人も増える
 - ・ 女性が働き続けることができる環境づくり
→ 雇用の促進と労働環境の改善、産業の育成
 - ・ 若者を引き付ける文化、ライブ等を行える場所
→ 芸術文化活動の充実
 - ・ ネットやツイッターなどを使って生涯学習の情報を発信してほしい
 - ・ 特徴を生かした更なる観光PR
→ SNSなどを活用した、広報対象を意識した情報発信機会の増加と充実
 - ・ 一番街の観光客のための歩道整備
 - ・ コミュニティバス路線、バス網の充実
→ 効果的な交通円滑化方策による市内の渋滞緩和対策
 - ・ クレアモールのキャッチセールスを何とかしてほしい
→ 防犯対策の推進
 - ・ 新しい住民が参加できる場所を作ったほうがいい
→ 地域コミュニティ活動の推進

イ 将来都市像（同様の意見をまとめて掲載）

- ・ 医療の充実したまち
- ・ 年齢を問わず住みやすいまち

- ・いきいき暮らせるまち
- ・安心して子育てできるまち
- ・子どもが楽しく安全に暮らせるまち
- ・教育が充実したまち
- ・伝統文化を大切にするまち
- ・心にゆとりがあるまち
- ・都市基盤が整っているまち
- ・美しい景観のまち
- ・公園がたくさんあるまち
- ・商店街が活気のあるまち
- ・観光拠点のまち
- ・女性が働きやすいまち
- ・中心部だけでなく地域を生かすまち
- ・清潔感のあるまち
- ・緑が豊かなまち
- ・人間と自然が共生するまち
- ・安心して暮らせるまち
- ・地域のつながりがあるまち



インタビューの様子

ウ 川越の魅力

※インタビュー項目として設定なし

エ 川越の課題

※インタビュー項目として設定なし

オ 力を入れるべき取組（多く意見が出された施策）

- ・児童福祉の推進（1-1-1）
- ・高齢者福祉の推進（1-1-2）
- ・生涯スポーツの推進（2-5-1）
- ・道路交通体系の整備（3-2-1）
- ・公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・商業の振興（4-1-4）
- ・観光環境の整備（4-2-2）
- ・ごみの減量化、資源化（5-2-2）



インタビューの様子

カ 実施手法

ずっと住みたいまち（住んでみたいまち）になるために必要な取組等について、市内の各駅でインタビュー形式の聞き取り調査を実施。

キ 実施日、実施場所、テーマ、参加人数

- ・実施日：6月23日（月）～6月27日（金）の5日間
- ・実施場所：川越駅、本川越駅、川越市駅、新河岸駅、南古谷駅、霞ヶ関駅
- ・テーマ：ずっと住みたいまち（市外の方は、住んでみたいまち）になるために
- ・回答者数：908人（男性 383人 女性520人 その他不明5人）

(2) 女性限定！ おしゃべりカフェ

目的：子育てを含め、社会で活躍する女性の話し合いの場を設けることにより、女性目線での多様な意見及びニーズを把握する。

ア 女性限定！ おしゃべりカフェの結果

- (ア) 課題、力を入れるべき取組について、「児童福祉の推進」と「公園の整備と充実」についての意見が多い。
- (イ) 子育てをはじめ、子どもの環境や地域コミュニティに関する意見が多い。
- (ウ) 個別施策の参考意見
 - ・ 学童保育の改善（時間、曜日、送迎等）
 - ・ 民間学童、託児所（送迎付き）を誘致
→ 児童福祉の推進
 - ・ 仕事を辞めなくても介護ができるような、訪問、在宅医療の拡大
→ 社会保障・福祉施策
 - ・ プレイパーク
→ 公園の整備と充実
 - ・ 地域で子育て
→ 児童福祉の推進、地域福祉の推進、地域コミュニティ活動の推進
 - ・ 転入者と前からの住民が歩み寄る
→ 地域コミュニティ活動の推進
 - ・ 子育て中とかではなく、色々な世代の女性が集まれる場所がほしい
→ 男女共同参画社会の実現
 - ・ 市の防犯メールを健診の場で周知する
→ 防犯対策の推進

イ 将来都市像（出された将来都市像の全て）

- ・ 寛容なまち、人々であり続けてほしい
- ・ 寛容なまち、人であってほしい
- ・ 子どもにとっても安全、安心なまち
- ・ みんなで川越を楽しもう

ウ 川越の魅力

※課題を踏まえ、力を入れるべき取組について話し合ったため記載なし。

エ 川越の課題（多く意見が出された施策）

- ・ 児童福祉の推進（1-1-1）
- ・ 生涯学習環境の整備・充実（2-1-1）
- ・ 公園の整備と充実（3-3-5）
- ・ 地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・ 電子市役所の推進（0-2-4）
- ・ 教育環境の整備・充実（2-2-2）
- ・ 消防・救急体制の整備（6-2-2）

オ 力を入れるべき取組（多く意見が出された施策）

- ・ 児童福祉の推進（1-1-1）
- ・ 地域コミュニティ活動の推進（6-1-1）
- ・ 高齢者福祉の推進（1-1-2）
- ・ 公共交通機関の充実（3-2-3）
- ・ 公園の整備と充実（3-3-5）
- ・ 防犯対策の推進（6-2-3）

カ 実施手法

○ワールドカフェ方式にて実施

- ・ ラウンドごとにテーブルを移動する。
- ・ カフェのようなリラックスした雰囲気をつくる。

キ 実施日、テーマ、対象者、参加人数

- ・ 実施日：9月28日（日）
- ・ テーマ：ずっと住み続けたいまちになるために
- ・ 対象者：市内在住の20代～40代の女性
- ・ 参加人数：11名（平均年齢38.7歳）



グループでの話し合いの様子



全体の振り返り
参加者が意見や感想を述べている

(3) 大学生インタビュー

目的：大学生の意見を聴取することにより、若年層の意見及びニーズを把握する。

ア 大学生インタビューの結果

- (ア) 魅力、課題、力を入れるべき取組について、交通と観光についての意見が多い。
- (イ) 生活環境、防犯等についての意見が多い。
- (ウ) 個別施策の参考意見
 - ・公園で野外ライブを実施する
→文化芸術活動の充実
 - ・時間帯によってバス・トラック等の大型自動車の通行を制限する
→交通円滑化方策の推進
 - ・観光で地元にお金が落ちる仕組み
 - ・参加型のまつり（地域密着を目指す）
→新たな観光事業の推進
 - ・寺をいかす
→新たな観光事業の推進、地域コミュニティの活動の推進
 - ・クレアモールにゴミ箱を設置する
→生活環境の保全

イ 将来都市像（出された将来都市像の全て）

- ・音楽で笑顔あふれるまち
- ・外国人が住みやすいまち
- ・スポーツの盛んなまち
- ・道が広いまち
- ・交通が便利なまち
- ・交通機関の充実しているまち
- ・東京から近いまち
- ・静かでのどかなまち
- ・遊ぶ所がたくさんあるまち
- ・降りてみたくなるまち
- ・観光のまち
- ・関東にある京都みたいなまち
- ・きれいなまち
- ・歩きタバコのないまち
- ・女性が活躍できるまち
- ・安全なまち
- ・事故・事件のないまち
- ・他の見本となるまち

<ul style="list-style-type: none"> ・伝統と最先端がまざったまち 	
ウ 川越の魅力 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光事業の推進(4-2-1) ・観光環境の整備(4-2-2) ・芸術文化活動の充実(2-3-1) ・公共交通機関の充実(3-2-3) 	エ 川越の課題 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・観光環境の整備(4-2-2) ・交通円滑化方策の推進(3-2-2) ・公共交通機関の充実(3-2-3) ・防犯対策の推進(6-2-3) ・生活環境の保全(5-3-2)
オ 力を入れるべき取組 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光事業の推進(4-2-1) ・観光環境の整備(4-2-2) ・道路交通体系の整備(3-2-1) ・交通円滑化方策の推進(3-2-2) ・商業の振興(4-1-4) 	
カ 実施手法 <p>参加者自ら選んだテーマについてグループワークを行い、どうすればテーマが実現できるか結論を出す、オープン・スペース・テクノロジー (OST) 方式によるワークショップにより実施した。</p> <p>グループワークの内容について発表を行った後、自分のグループ以外で最も気に入った発表を選び投票を行った。</p>	
キ 実施日、実施大学、テーマ、参加人数 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日及び実施大学 <ul style="list-style-type: none"> 9月19日(金) 東京国際大学 (参加学生数: 19人) 9月26日(金) 東邦音楽大学 (参加学生数: 20人) 10月7日(火) 東洋大学 (参加学生数: 23人) 12月16日(火) 尚美学園大学 (参加学生数: 15人) ・テーマ: ずっと住み続けたいまちになるために ・参加人数: 合計77人 	

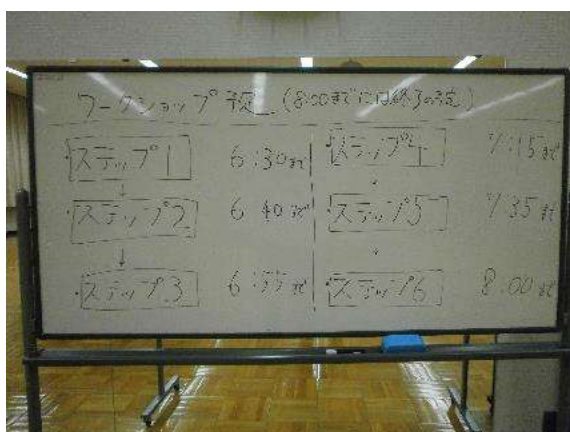
(4) 若者ワークショップ

目的：将来の本市を担う若年層の意見を把握する。

ア 若者ワークショップの結果 (ア) 課題、力を入れるべき取組について、交通と観光についての意見が多い。 (イ) 個別施策の参考意見 ・小中学校にクーラー設置 →教育環境の整備・充実 ・市内循環バスの充実が必要 →公共交通機関の充実 ・ご当地アイドルを有名に →新たな観光事業の推進 ・地域の交流の場を増やす →地域コミュニティ活動の推進	
イ 将来都市像 （出された将来都市像の全て） ・人々とつながるまち 川越 ・どこでも便利な自慢のまち 川越 ・期待感 行きたい感 一体感 川越 ・整ったまち川越！ ～ 人×夢×笑顔＝川越 ～	
ウ 川越の魅力 ※項目として設定なし	エ 川越の課題 （多く意見が出された施策） ・公共交通機関の充実(3-2-3) ・道路交通体系の整備(3-2-1) ・新たな観光事業の推進(4-2-1) ・交通安全対策の推進(6-2-4) ・計画的なまちづくり(3-1-1)
オ 力を入れるべき取組 （出された意見の分野）	
カ 実施手法 付せんを用いてK J法を参考にワークショップを行い、グループごとに発表を行った。	
キ 実施日、テーマ、参加人数 ・実施日：8月10日（日） ・テーマ：ずっと住みたいまち（住んでみたいまち）を目指して ・参加人数：23人（高校生7人、大学生10人、社会人6人）	



グループワークでの話し合いの様子



ワークショップの工程

(5) 外国籍市民インタビュー

目的：人口の約1.5%を占める外国籍市民に住みたいまちづくりについてアンケートを行い、多様な意見及びニーズを把握する。

ア 外国籍市民インタビューの結果

- (7) 魅力について「交通が便利」「住みやすい」といった点、また商業や観光についてのコメントが多い。
- (イ) 課題について交通や道路などの都市基盤に関すること、商業についての意見が多い。
- (ロ) 力を入れるべき取組について「スポーツ」「交通」「道路整備」「防犯」「商店」などの言葉が多い。また、道路や交通、商店街など、都市としての機能が整備されていること、スポーツができること、人とのつながりがあり、安全で安心であることが求められている。
- (エ) 個別施策の参考意見
 - ・多文化共生のまちづくりへ向けた交流や相互理解の必要性
 - ・外国籍市民の特性を生かした社会参加への関心
 - 地域コミュニティ活動の推進
 - ・普段の生活で困っていること：「税金等の支払い」「日本語」「病気」「仕事探し」
 - 「仕事探し」の支援についての検討
 - ・スポーツに関する要望の多さ
 - 公共施設等の使用の仕方についての周知方法の検討
 - ・川越の魅力の理解者としての外国籍市民の存在
 - 魅力を広めることへの協力依頼の検討

イ 将来都市像（同様の意見をまとめて掲載）

- ・子どもの教育を応援するまち
- ・歴史を大切にしたいまち
- ・歴史的遺産を守るまち
- ・外国籍の市民も誇りを持って住みやすいまち
- ・多文化共生のまち
- ・真に開放的な国際化のまち
- ・木がいっぱい緑いっぱい
- ・交通便利なまち
- ・静かで住みやすいまち
- ・仕事があるまち
- ・活気あふれるまち

<ul style="list-style-type: none"> ・観光のまち ・安全なまち ・人とのつながりが強いまち ・安全なまち ・若者もお年寄りも暮らしやすいまち 	
ウ 川越の魅力 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・快適な住宅・住環境の整備 (3-3-6) ・公共交通機関の充実 (3-2-3) ・商業の振興 (4-1-4) ・文化財の保存・活用 (2-3-1) ・多文化共生と国際交流・協力の推進 (2-4-1) 	エ 川越の課題 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・商業の振興 (4-1-4) ・公共交通機関の充実 (3-2-3) ・地域コミュニティ活動の推進 (6-1-1) ・多文化共生と国際交流・協力の推進 (2-4-1) ・道路交通体系の整備 (3-2-1)
オ 力を入れるべき取組 (多く意見が出された施策) <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生と国際交流・協力の推進 (2-4-1) ・生涯スポーツの推進 (2-5-1) ・公共交通機関の充実 (3-2-3) ・地域コミュニティ活動の推進 (6-1-1) ・道路交通体系の整備 (3-2-1) 	
カ 実施手法 <ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティング参加者、国際交流センターで開催されている日本語教室の学習者、留学生等に対面インタビューでの聞き取り調査またはアンケートを配布し記入を依頼する方式で実施した。 	
キ 実施日、テーマ、参加人数 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：8月28日(木)、9月19日(金)、9月22日(月)、9月27日(土)他 ・テーマ：外国籍市民から見た住みやすいまちづくり ・参加人数：回答者数 131人(16箇国) 	



インタビューの様子

3 エリアインタビュー

目的：市内各地域から市民の意見を聴取し、地域別課題の違いや本市全体の課題や将来の方向性等を把握する。

(1) エリアインタビューの結果

ア 魅力、課題（1回目）について、各公民館によって、意見の傾向が同じ分野（保健・医療・福祉）と違う分野（産業・観光）がある。

イ 住み続けるために力を入れるべき方策（2回目）について、コミュニティや子育て（教育）、交通に関係する意見が多い。

ウ ポスターセッションではコミュニティや子育てに関する意見が多い。

エ 個別施策の参考意見

- ・旧遊廓街を観光活用すべき
→新たな観光事業の推進
- ・里山を保全・活用すべき
→農業の振興、計画的な環境事業の推進
- ・公園が少ないので、学校開放すべき
→公園の整備と充実、教育環境の整備・充実
- ・各公民館にふれあいカフェコーナーを設置する
→地域コミュニティ活動の推進

(2) 将来都市像

※項目として設定なし

(3) 川越の魅力

- ・保健・医療・福祉
→病院（中央、北、芳野、高階、高階南）など
- ・教育・文化・スポーツ
→伝統行事（古谷）、少年野球（大東）など
- ・都市基盤・生活基盤
→地盤が固い（福原）、インター（大東）など
- ・産業・観光
→小江戸の雰囲気（中央）、直売所（芳野）、伊佐沼（古谷）、かかしまつり（山田）など
- ・環境

(4) 川越の課題

- ・保健・医療・福祉
→（シャトル）バス（中央、高階、大東）、認知症（大東南）、健康予防（川鶴）など
- ・教育・文化・スポーツ
→学校開放（中央、福原）、学校整備（山田、伊勢原）など
- ・都市基盤・生活基盤
→道路整備（高階、高階南、大東南、山田、霞ヶ関、伊勢原）、下水道（芳野、南古谷、福原）など
- ・環境
→ゴミ分別（中央、北、福原、名細）、調整池の整備（高階、高階南）な

<p>→自然（福原、名細）、伊勢原（桜並木）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と市民生活 <p>→公民館活動（高階南）、地域パトロール（霞ヶ関）など</p>	<p>ど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と市民生活 <p>→コミュニティ（南、高階南、霞ヶ関、川鶴）、世代間交流（古谷、高階、山田、川鶴）など</p>
<p>(5) 力を入れるべき取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ（中央、南、古谷、南古谷、川鶴） ・子育て・学校教育（北、山田、名細、伊勢原） ・行政サービス向上（高階、大東） ・交通（霞ヶ関、霞ヶ関北） ・公民館（芳野） ・道路整備（高階南） ・農業（福原） 	
<p>(6) 力を入れるべき取組（ポスターセッション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ（芳野、南古谷、福原、名細、霞ヶ関、川鶴） ・子育て（中央、古谷、高階南） ・伊佐沼周辺整備（南） ・娯楽（高階南） ・医療（大東） ・商業施設（大東南） ・道路（山田） ・マナー（霞ヶ関北） ・交通安全（伊勢原） 	
<p>(7) 実施手法</p> <p>ア ワールドカフェ方式</p> <p>（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次川越市総合計画の6分野について話し合いを行った。 ・3ラウンド行い、テーブル間の移動を行う。 <p>（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ラウンド行い、テーブル間の移動を行う。 <p>イ ポスターセッション</p> <p>公民館に模造紙を掲示し、「住みたい地域になるために力を入れるべきこと」について自由に記載</p>	
<p>(8) 実施日、テーマ、参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：平成25年10月～12月 ・テーマ：（1回目）地域の魅力と課題について （2回目）住みたい地域になるために力を入れるべきこと （ポスターセッション）住みたい地域になるために力を入れるべきこと ・参加人数：591人 	

参 考

川越みらい会議及びカテゴリ別意見聴取（若者ワークショップを除く）について、「力を入れるべき取組」（多く意見が出された施策）の項目の結果を総合計画の章別にまとめると次のようになった。

	川越 みらい 会議	カテゴリ別意見聴取			
		まちかど インタビュー	女性限定！ おしゃべり カフェ	大学生 インタビュー	外国籍市民 インタビュー
対象者	無作為市民	若い世代や 在勤者	若い女性	市内大学に 通う学生	外国籍市民
共通施策	○市民参加と協働 の推進				
保健 医療 福祉		○児童福祉の推進 ○高齢者福祉の推 進	○児童福祉の推進 ○高齢者福祉の推 進		
教育 文化 スポーツ		○生涯スポーツの 推進			○多文化共生と国 際交流・協力の 推進 ○生涯スポーツの 推進
都市基盤 生活基盤		○道路交通体系の 整備 ○公共交通機関の 充実	○公共交通機関の 充実 ○公園の整備と充 実	○道路交通体系の 整備 ○交通円滑化方策 の推進	○道路交通体系の 整備 ○公共交通機関の 充実
産業 観光	○商業の振興 ○新たな観光事業 の推進 ○観光環境の整備	○商業の振興 ○観光環境の整備		○商業の振興 ○新たな観光事業 の推進 ○観光環境の整備	
環境		○ごみの減量化、 資源化			
地域社会 と 市民生活	○地域コミュニテ ィ活動の推進		○地域コミュニテ ィ活動の推進 ○防犯対策の推進		○地域コミュニテ ィ活動の推進